

作成日： 2016/06/01

改訂日： 2025/02/06 (第3版)

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称 たたきくん硬化液
供給者の会社名称 二瀬窯業株式会社
住所 〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669
担当部門 本社技術課
電話番号 0948-22-0447
推奨用途 建築工事に用

【2. 危険有害性の要約】

化学品のGHS分類

健康有害性

皮膚感作性 区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

安全対策

保護手袋を着用すること。蒸気の吸入を避けること。

応急措置

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察又は手当てを受けること。

保管

該当しない

廃棄

内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。

【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
二重硫酸ナトリウム(固体)	1%以上	—	1-502	—	7681-57-4
2-エチルヘキシル=アクリラート	1%以上	—	2-990	—	103-11-7
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	0.1%以上	—	5-5235	—	2682-20-4

【4. 応急措置】

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識が

	ない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。
眼に入った場合	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったならそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

皮膚に付着した場合

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

過剰にばく露した場合の徴候症状

皮膚に付着した場合

有害症状には以下の症状が含まれる：

刺激

充血

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。

医師に対する特別な注意事項

症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

【5. 火災時の措置】

適切な消火剤

火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

情報なし。

火災時の特有の危険有害性

火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

特有の消火方法

火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適

環境に対する注意事項	<p>切な個人保護装置を着用する。</p> <p>流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関する 8.に記載の情報に注意しなければならない。</p> <p>漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。</p> <p>製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。</p>
封じ込め及び浄化の方法及び機材	<p>少量に流出した場合、危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。</p> <p>大量に流出した場合、危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。放出現場には風上から近づくこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する（13.を参照）。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。</p>

【7. 取扱いおよび保管上の注意】

取扱い	
技術的対策	情報なし。
安全取扱注意事項	<p>適切な個人保護具を使用すること（8.を参照）。皮膚感作障害の病歴を持つ人を、本製剤が使用されるいかなる工程にも就業させてはならない。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。摂取してはならない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。容器を再利用してはならない。</p>
接触回避	10.を参照
衛生対策	<p>本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様に 8.の衛生措置に関する追加情報も参照。</p>
保管	
安全な保管条件	<p>現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質（10.を参照）および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前に 10.を参照のこと。</p>
安全な容器包装材料	情報なし。

【8. ばく露防止及び保護措置】

設備対策	<p>全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。</p> <p>取扱場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。</p>
------	--

ばく露限界及び感作性物質分類

法文名又は化学名	ばく露限界値 / 感作性物質分類
二亜硫酸ナトリウム（固体）	ACGIH TLV (米国、1/2023)。 TWA： 5 mg/m ³ 8 時間。

保護具

呼吸用保護具	<p>危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。高濃度の化学物質を取り扱う場合は、送気マスクの装着を検討すること。作業者がガスや蒸気にばく露される場合は呼吸用保護具（防毒マスク等）の着用を検討すること。防毒マスクの選択については、以下の点に留意すること。1)酸素濃度が18%未満の場所では使用しない。2)作業者が粉塵に暴露される環境で防毒マスクを使用する場合には、防じん機能付き吸気筒を使用する。</p> <p>3)防毒マスクは、厚生労働大臣の行う型式検定に合格した、作業に適した性能及び構造のものを選ぶ。その際、取扱説明書等に記載されているデータを参考にする。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。</p>
手の保護具	<p>リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。</p>
眼、顔面の保護具	<p>リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない：側方シールド付の保護眼鏡。</p>
皮膚及び身体の保護具	<p>作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。</p> <p>この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。</p>

【9. 物理的及び化学的性質】

物理状態	液体
色	白色
臭い	特異臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界 ／可燃限界	下限 データなし 上限 データなし
引火点	引火せず
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	7.0-8.5
動粘性率	データなし

溶解度	水と任意に混和
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	相対密度 1
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

【10. 安定性及び反応性】

反応性	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	常温常圧で安定
危険有害反応可能性	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

【11. 有害性情報】

急性毒性 製品として情報なし

成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入（気体） (ppm)	吸入（蒸気） (mg/l)	吸入（粉じん／ミスト） (mg/l)
二亜硫酸ナトリウム（固体）	500	—	—	—	—
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	100	300	—	0.5	—

皮膚腐食性／皮膚刺激性 製品として情報なし

眼に対する重篤な損傷性／ 製品として情報なし

眼刺激性

呼吸器感受性 製品として情報なし

皮膚感受性 製品として情報なし

成分の名称	カテゴリー	暴露経路
二亜硫酸ナトリウム（固体）	区分 1	呼吸器系
二亜硫酸ナトリウム（固体）	区分 1	経皮
2-エチルヘキシル=アクリラート	区分 1B	経皮
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	区分 1A	経皮

生殖細胞変異原性 製品として情報なし

発がん性 製品として情報なし

成分の名称	カテゴリー	暴露経路
2-エチルヘキシル=アクリラート	区分 2	—

生殖毒性 (生殖毒性) 製品として情報なし

(生殖毒性・授乳影響) 製品として情報なし

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 製品として情報なし

成分の名称	カテゴリー	暴露経路	標的臓器
二亜硫酸ナトリウム（固体）	区分 3	—	気道刺激性
2-エチルヘキシル=アクリラート	区分 3	—	気道刺激性
	区分 3	—	麻酔作用

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 製品として情報なし

成分の名称	カテゴリー	暴露経路	標的臓器
2-エチルヘキシル=アクリラート	区分2	-	鼻腔

誤えん有害性 製品として情報なし

【12. 環境影響情報】

生態毒性 情報なし

残留性・分解性 情報なし

生体蓄積性

成分の名称	LogPow (オクタノール/水の分配係数の対数)	BCF (生物濃縮係数)	可能性
二亜硫酸ナトリウム（固体）	-3.7	-	低
2-エチルヘキシル=アクリラート	4.64	-	高

土壤中の移動性 情報なし

オゾン層への有害性 該当しない

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物 容器、機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さないこと。
 廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。
 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律に従って処理を行うか委託すること。

汚染用器及び包装 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

【14. 輸送上の注意】

国際規制 国連番号 非該当
 品名 非該当
 国連分類 分類に該当しない。

国内規制
 陸上規制 法の基準に従い積載・輸送する。
 海上規制情報 法の基準に従い積載・輸送する。
 航空規制情報 法の基準に従い積載・輸送する。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 保護具、消化器を携帯する。
 容器に漏れの無いことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実にする。

【15. 適用法令】

労働安全衛生法 非該当
 毒物及び劇物取締法 非該当
 化学物質排出把握管理促進法（P R T R法） 非該当
 消防法 非該当

【16. その他の情報】

参照

DataLink ™

JCDB Database – Japanese Regulations List

REACH (Regulation (EC) 1907/2006) - Article 119(1). ECHA registered substances

Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)

U.S. Environmental Protection Agency, AQUIRE (Aquatic toxicity Information Retrieval)

ECOTOX Database System

Regulation 1272/2008 Annex VI - Table 3.2 - List of Classification and Labeling of Hazardous Substances

National Institute of Technology and Evaluation (NITE) - GHS Classifications List

本安全データシートは、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシート中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、弊社は安全データシート記載事項について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではなく、本データシートに記されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。